



公益社団法人芦屋市シルバー人材センター

はつらつ 芦屋

2019・7 No.28



ホームページアドレス <http://www.sjc.ne.jp/ashiya/>

芦屋市シルバー

検索

芦屋ルナホールの蔦「芦屋富士」
撮影 岡野 伸伸(会員番号1489)

TEL 0797-32-1414 FAX 0797-31-9223



令和元年度定時総会開催

第2次中期事業計画策定

「令和」という新たな時代を迎え、5月30日（木）芦屋ルナホールにて、芦屋市シルバー人材センター令和元年度定時総会が開催されました。

人生100年時代に向けて、生涯現役社会の実現を図ることがますます重要であり、シルバー人材センターはその担い手として、高齢者のニーズに応じた多様な就業機会を提供する役割を求められています。北風文子会員の司会進行、参加会員873名（当日出席317名、委任状556名）で始まりました。山村理事長の挨拶に続き、一般表彰の株式会社エムアンドエムサービス様、理研興産株式会社様、株式会社万代西宮前浜店様の紹介、永年会員25年1名、20年3名、10年32名が表彰されました。

来賓の山中芦屋市長、福井市議会副議長、牛尾阪神南県民センター交流室室長補佐からご祝辞をいただき、6月10日に勇退される山中市長に感謝の花束を贈呈しました。その後、議長に森信行会員が選出され、6議題全て承認されました。

また、2019年度を初年度とする第二次中期事業計画（2023年度までの5カ年）の活動方針が示されました。



山村理事長



議長の森会員



司会の北風会員



山中芦屋市長



来賓の皆様



25年表彰の十田会員



20年表彰の阿部会員



20年表彰の川島会員

一般表彰
右 理研興産株式会社様
左 株式会社
エムアンドエムサービス様



永年会員表彰の皆様



10年表彰代表の大沼会員



議事進行中の会場

会員スキルアップ

接遇講習会

3月5日・6日に、はつらつ館にて接遇講習会が開かれました。個人情報関連の講習会は初めてだった事、どちらかの日を選択受講することが出来た事により、66名の会員が受講し熱心に耳を傾けました。前半は「個人情報の取り扱いについて」、外部講師の中島寿恵氏から個人情報と守秘義務の重要性の説明を受け、実際の就業の中でどのように注意をしたらよいか等話をうかがいました。

特に公共施設では、受付名簿の管理に気をつけ、席を離れる時も人目に付かない所に置く等、慎重に取り扱わなくてはいけない事を再確認しました。

私たちの暮らしは情報が溢れ便利な反面、マナーやモラルの責任を自覚しなければならぬ事を痛感しました。

後半の講習は「グッドコミュニケーション・グッドワーク」と題して、講師の森 信行会員から良い人間関係をつくるための心のあり様を、図を用いてわかりやすく分析して頂きました。



苦情やトラブル事例の原因はマナーの欠如・時間にルーズ・誠意に欠けた対応等だと言われ、これは一人ひとりの注意で防ぐことが出来ると感じました。就業をスムーズに行うために、聞き上手の効果や相手の存在を認める信頼関係が大切だと、ご自分の仕事上での経験を交えながら話されました。

私たちの誠実な態度や言葉遣いが依頼者から信頼を得、働く喜びや充実感へと繋がっていく事もうなずけました。

参加者からは受講してよかった、事例研究会も開いて欲しい、学ぶきっかけとなった等、会員の前向きな思いが感じられた講習会でした。

取材 廣田 輝代

清掃ボランティア活動

芦屋市シルバー人材センターのボランティア活動で4月13日(土)に道路の清掃を行いました。参加者は会員、事務局合わせて63人で、素晴らしい天候に恵まれて気持ちの良い活動ができました。

終わっていつも気づくのは無償で何かをやるといふことの気持ちよさです。「お疲れ様です」「ありがとうございます」「ご言いました」という言葉や、清々しい気分になれるのです。

私は国道2号線沿いの担当でしたが「さすが芦屋！」と最初はあまりゴミが無いように感じたのですが、センターに戻ると大きな袋いっぱいゴミが集まっていました。道路の植木のそばにゴミが捨ててあったり、隠れて見えないような草の根元辺りにゴミが捨ててあったり、日頃何気なく通っていた道路もこんなに汚れていたのかとびっくりしました。

しかし自転車や市民の方たちが通るときに、元気な声で「おはようございます」と声掛けすると「ご苦労様！有難う！」とお声掛けしてくださる方も沢山いらっしゃっ

て励みになり、道行く方たちに挨拶をしていると、人と人との一体感が出来て不思議な高揚感を感じたのは私だけでしょうか。これが本当のボランティアなのだなぁと実感します。

ボランティア終了後は懇親会を開催し、参加の方達と交流もできました。

参加したことで道路も綺麗になり、自分の心の清掃もできて綺麗になっていくようでした。ためしに次回一度参加されると良いですよ。ちなみに次回は10月19日(土)です。一緒に参加しましょう。

会員活動委員

石野 由紀子(会員番号2032)



10周年を迎える

キッズサポートまじっぼひろ



ぼっくりくん つつじちゃん

乳幼児の一時預り『まつぼっくり』の活動に興味を持ち登録してからもう7〜8年になるでしょうか。初めて『まつぼっくり』の部屋に入った時、仕事への緊張感と共に、何かホッとするのを私自身も感じました。壁に張られた飾り付けやオモチャが子供達を喜ばせてくれる雰囲気を作りだしていました。

当時は、何度もあるいは何年間か続けて来られた子供さんと顔見知りになり「幼稚園、保育所に入ることになったから『まつぼっくり』は卒業だね」というお子さんが多かったように思います。今はそのサイクルが早くなっている感じがして、ちょっと残念だなあと思っています。

お母さんと離れ、不安一杯でずっと泣き続けていた子供さんが、何かの拍子にオモチャや他の子供達の遊んでいることに興味を示し、一緒に遊び始め、帰る時には手を振り笑顔で「バイバイ」と言ってくれると本当に嬉しく感じます。

令和になった今年、『まつぼっくり』は10年を迎えます。最初の頃は訳もわからず、ただた



子どもたちを見守る曽我部会員

だ安全ということに気を配りながらの活動でしたが、最近はお供達の目線に合わせて一緒に遊びながらも、楽しく、安全に、そしてゆったりとして居心地の良い場所であって欲しいと願いながらの活動です。

最初に子供達と接した時の緊張感をいつまでも持ち続け、気持ち的には慣れすぎないように、という自分自身への反省心も併せ持ちながら、これからも『まつぼっくり』の活動に参加させていただきます。と思っています。

曽我部通子(会員番号1214)

楽しさを見つける

小町サロン

小町カフェでは一昨年10月にオープンして以来、もっと地域の大勢の方に気軽に利用して欲しいと、いくつかのカフェサロンが開かれています。おいしいコーヒーを味わいながらそれぞれに楽しい趣味の時間を共有し教養を高め合う、そんなサロンを取材しました。

「井戸端会議」は地区懇談会での話題がきっかけで、芦屋の昭和時代をもっと知りたい語りたいの思いからスタートし、懐かしい写真をプロジェクトで映しながら話に花がさいています。今では補助椅子を用意する程の人気です。「詩吟サロン」は腹式呼吸が体に良く、普段なかなか読む機会が少ない漢詩を感情豊かに吟じます。「小町句会」は何気ない日常生活の中からふとした喜びや驚きを5・7・5の言葉の中に表現します。

「ジャズを楽しむ会」はコーヒータを味わいながら懐かしいジャズやトランペットの音色に思いを馳せます。「かんたん手芸」は指先を動かすこ



ジャズを楽しむ会



ひな祭り会

とが脳トレになり楽しみながら手作りの小物が出来ます。そして手作りケーキ等のスイーツ付きのお茶会では3月は折り紙でひな人形作り、4月は絵手紙体験がありました。まだまだ皆さんの希望や提案でサロンの数も増えそうな予感。どの会も集まっている皆さんの真剣な眼差しやほっとした時のいい笑顔がサロンの雰囲気にとびつたりでした。

入口のボードに月間予定表が掲示されています。一度のぞいてみませんか。

取材 廣田 輝代

芦屋の🎯が好き

芦屋川の文化遺産と自然

木山正典 (会員番号2204)



少ない季節はチャンスです。

東灘から芦屋に移り住んで8年。現役時代、建物ウォッチングを本業のようにライフワークとしていた私にとって、ここでの生活は新鮮で、仕事の合間をみてもは街歩きで楽しんでいきます。そんな私が、好んで歩いている場所の一つが芦屋川で、疲れた足を癒してくれる多彩なお宝に出会えるのが紹介したい理由でもあります。お宝の一つは、山麓に建つ重要文化財の旧山邑邸。超有名建築として名高いが全貌を捉えるのが至難な建物です。そんな中で唯一、開



森橋上流西岸の登山道から望む視点場は、丘陵を段状に展開する建物の特色を読み取ることができ、絶好のポイントとして、特に緑の

二つ目のお宝は、市の都市景観を代表する芦屋教会です。尖頭の塔が美しい見馴れた正面の姿とは一味違う裏面の風景は、一見、西欧の街中の絵を見ていような佇まいが印象的で、いろんな視点から見ることの楽しみを教えてください。

この他、東洋的な独特なディテールが見所の仏教会館や、重厚な石の橋脚に支えられた業平橋、浜近くに残る創成期のバスの待合所、上流沿道の石垣に埋め込まれた酒造りの精米石臼など、都市発展の歩みを伝える歴史遺産も多く興味は尽きません。

それらに加え、護岸の石垣から生え出た可憐な草花や、運が良ければ鴨の親子にも出会える自然豊かな環境は、一服の清涼剤として皆様にもお勧めです。

居酒屋

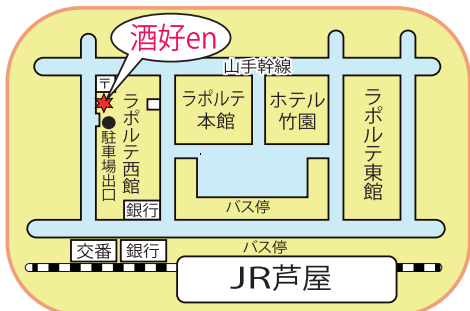
酒好 en
しゅこう えん



芦屋のグルメ

とても穏やかな印象のご夫妻が経営する居酒屋『酒好 en』さん。ラポルテ西館の駐車場の出口のすぐそば。今年4月で開店6周年を迎えられるそうです。

カウンターのみのお店です。お一人様OKな雰囲気、定員10名つとどこかな。メインは数量限定の「ステーキランチ」、赤だし、ごはん、香の物、シャキシャキのサラダがセットです。短冊状に細くお肉が切つてあるので、ナイフ、フォークは不要。お箸のみでらくらくに食べられます。硬すぎず、柔らかすぎずのお肉には大満足です！



芦屋市船戸町2-1ラポルテ西館116-1F
☎0797-31-8327
営業時間：ランチ11:30~14:00
居酒屋17:30~23:00
定休日：日曜日

取材 梶原健司

いろんなお酒が並んでいます。きつと夜の居酒屋も人気があるのかな。



うなぎ丼 (赤だし付き1,600円)



ステーキランチ (もも肉150g1,000円)

季節によって変わりますが、ランチは他にうなぎ丼、辛口カレーライスがあります。

似顔絵



手塚治虫さん



イチローさん



仲邑 菫さん

澤田 邦洋 (会員番号20008)

平成に起きたニュースから
 平成元年2月に亡くなられた手塚さん、数多くの作品は多くのマンガ家に影響を与え、「マンガの神様」と評される
 平成21年3月、華麗なプレーと数々の記録で人々に感動を与えてくれたイチローさん、引退も表明
 平成21年4月、史上最年少で囲碁の七冠王になった小学4年生仲邑菫さん

紀行☆寄稿☆奇行？

ロヒンギャ難民を訪ねる旅

移動の機内で、以前から気になっていた映画『終わった人』を観た。

今年1月から3月にかけて、埼玉県を振り出しに、ヤンゴンとコックスバザール、バンククを足早に巡り、ロヒンギャ族の人たちに会ってきた。シルバーでの高齢者施設の宿直やMANパワーは、事前に調整すれば時間を作れることから、現役時代の延長でジャーナリストを続けられ、海外取材にも行ける。

定年退職し、長年勤めた会社を送り出される社有車は、いつのまにか霊柩車に。「定年って生前葬だな」と呟いた館ひろしは、こう言葉を継いだ。「俺はまだ終われない」。その通り、俺もまだ終われないと狭いエコノミー席で膝を打った。まだまだ体力もやる気もある。その一方で、アジアで80万人を超すロヒンギャ族が難民となり、解決の糸口さえ見えない現実があっても、日本での関心は低い。難民を出したミャンマーには多くの日本企業が進出し、バングラデシユの難民キャンプへは日本政府が国民一人あたり100円に近い援助を贈っている。

その時々々のホットな事象や地域は、マスコミ各社が一極集中で社員ジャーナリストを動員する。フリーランスが自主的に取材・報道するならば「一個人として、そうしたい、すべきだと思ふことを」という持論に立ってのこと。但し、売れ筋でないことは百も承知の万年大赤字。くたびれ損でも敢行する。奇行“の約1万キロにおよぶ”紀行“を『はつらつ芦屋』に寄稿した。

阿佐部伸一 (会員番号3141)



配給物資を運ぶロヒンギャ族の少年＝バングラデシュ・コックスバザール県のクウトパロン難民キャンプで、3月7日写す

ワーク・ア・ラ・カルト

あしやキッズスクエア 体験プログラム

パソコン研究会は市内公立小学校8校で開催されている放課後子供教室(キッズスクエア)で子供達にプログラミング教室を開催しています。参加者は、ほとんど60歳以上ですが、キッズスクエアは小学1、2年生が中心で6〜12歳の子供達です。このギャップと集団の子供達を指導するという難しさを経験しています。

2020年から小学校でプログラミング教育が全国的に導入されます。その準備期間として「キッズスクエアでシルバーが少しでも役に立ち、子供達がスムーズにプログラミングの勉強に入っていくるように」と思い、パソコン等の機材を持ち込んで始めました。

我々が実施するプログラミング教室は「ビスケット」と言うアプリ(プログラム)で子供向け教材です。最初は心配していたのですが、なんの、なんの、一年生でも難なくこなしていくことが解りました。TVゲームやPCゲームでは「どのボタンを押せばどうなる」を

覚えればできるのですが、「ビスケット」は自分がどんなキャラクターを作って、どう動かして、どうしたいかをきちんとしていなくてはいけません。初めての子供達は絵を描くだけで終わってしまいます。この作業を通じてコンピュータの仕組みを理解し、プログラミング思考を育てるのが目的です。

その絵を動かしてみたらどう? とアドバイスして本人が思い通りに動かすことができた時は、大喜びで大成功です。嬉しそうに笑顔はその子の親に見せたいと思います。時々、作品を印刷して持って帰ってもらいます。その子の自慢げなドヤ顔が目につかびます。

キッズスクエアには子供達を見守っている指導員がおられます。その方たちも子供達の笑顔に大変喜ばれ、その真剣さ、集中力に驚いておられます。

森山 弘
(会員番号
2578)



私のおばあちゃん
大原 理沙子さん
片山 シツ子さん 孫
(会員番号953)



孫娘さんと片山会員(筆者左)

私の祖母はとにかくアクティブです。祖母の手帳には平日休日を問わずびっしりと予定が詰まっています。

祖母は40年以上趣味の詩吟を続けています。自身が歌うのはもちろん、先生として詩吟を教えたり、時には審査員もしたりと詩吟ライフを満喫しています。

それに加えて、シルバー人材センターのカフェスタッフや、小学校での子ども見守りなどのお仕事もしていて、いつも楽しそうに話をしてくれます。休みなく動いていて時々心配にもなりますが、この忙しさこそが祖母の元気の源なのだと思います。

そんな大忙しの祖母ですが、遊びに行くと、いつも食べきれないくらいの手料理を用意して

くれています。

また、私の誕生日や吹奏楽の演奏会、入学や卒業などの節目の日には必ず会いに来てくれます。

受験勉強中は体調を気遣ってくれたり、大学入試の前日には「絶対大丈夫だから自信持って頑張っておいで」と言ってくれたので、苦しい受験を乗り越えられたし、試験当日の励みにもなりました。大学合格がわかった時は、真っ先に祖母にラインで報告しました。すぐに電話をくれたので、改めて「合格したよ」と伝えると「おめでとう」と言っただけ涙を流して喜んでくれました。

私たちのことをいつも一番に考えてくれる優しい祖母が大好きです。これからも元気で自慢の祖母でいて欲しいです。

元気の秘訣

いつも笑顔を忘れず

西岡 千恵子会員の巻
(会員番号1737)



これから
も続けて
いきたい
とおっし
やる。
健康は
食事から
との思い
で、手を
抜かない
インスタ

初対面であったにも拘わらず、
気さくに応じてくださり、御自宅
でお話を伺う事になった。

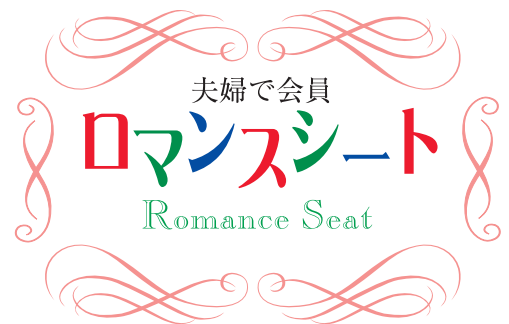
まず、お年は？と問うと83才と。
身だしなみを整えて、すっきりさ
れた表情に若さを感じた。その若
さの秘訣はと聞きすると、次の
ような、元気な答えが返ってきた。
シルバーで月2回「みんななで
歌おう」で声を出す。毎週日曜日
は、春日公園でシルバー会員参加
のラジオ体操を欠かさない。その
帰り、希望者はマクドナルドで
一服。一般の方も混えての情報
交換の場は楽しみのひとつ。そこ
で知り合った方からヨガも指導
していただいている。

シルバーでのお仕事は、週1度
の家事援助2時間。お掃除が主で、
御家族からとても感謝していると
喜ばれ、励みになっているとの事。

ントは使わず、手作りで。ご近所
に住まわれるお孫さんの夜食作り
もされるとか。ご兄弟姉妹も仲良
く、年1回、弟さんからの声かけ
で、実家のある伊賀でお屋敷を借
りて盛大な「いとこ会」も楽しみ
のひとつ。

趣味も多く、映画、芝居、音楽
もクラシックからジャズ迄。美術
鑑賞、好きな作家なら遠くても足
を運ぶ。お話を伺っている、こ
んなにお元気なのは、生き方がポ
ジティブで、常に、行動的で人生
の楽しみ方もご存知だからだと、
合点がゆく。お話は尽きませんが、
私も元気を頂き、おいとまするこ
とにした。玄関先の梅の木に可愛
い、小さな実が鈴なりについてい
る。「これ大きくなったら梅漬け
にします」と最後におっしゃった。

取材 北川 知可子



84歳の同級生

前田

森生(会員番号 565)
久恵(会員番号 1940)

ご出身は九州の大分県。仕事の
都合で関西に来られ、シルバー人
材センターでは森生さんは除草の
仕事を19年。久恵さんは、家事
援助の仕事をしていきます。2年
に一度、アメリカ シアトルに在
住の次女宅に行き、一度渡米する
と、2カ月は滞在されるとか。

趣味は？ 森生さんは釣り、
野球や相撲などのテレビ観戦。
久恵さんは、写経をされて、京
都大覚寺へ毎月一度納めに参ら
れ、体操やマージャンも好き。

仕事は如何ですか？ 森生さ
んは「芝刈りをして、皆さんの
庭が綺麗になる事が嬉しい」
久恵さんは、8年間同じお宅へ
家事援助を続けています。

アメリカの娘さんから「じい
ちゃん、芝生がのびたよ」との
電話で会いに行き、お孫さん達
が小さい頃はよく野球の相手を
されたそうです。言葉の壁は娘
さんが同伴で何の不自由もなく、
アラスカではサーモン釣り、又
好きなイチロー選手も観戦でき、
思い出は尽きません。日本では
長女が近所におられてとてもご
安心だそうです。

最後に久恵さんは、「元気な
内は仕事を続ける」と言われ、
森生さんは優しく頷いておられ
ました。

取材 久我 和子



サンフランシスコにて

美しきイギリスの旅

昨年9月4日早朝、超大型台風関西直撃寸前の不気味な薄日射す神戸空港から、すり抜けるように羽田→ロンドンへ飛び立った。BBCニュースで関空橋を壊す大災害だったと知り、重い気持ちを抱えたまま市内観光はスタート。が、紀元前2500年代からの人類の英知と歴史の宝庫、大英博物館を鑑賞するうち「イギリスを楽しもう！」と気持ちは上向きに切り替わっていきました。

はちみつ色の村巡り

ロンドン北西200km丘陵地帯に広がるコッツウォルズ地方は世界で最も美しいと讃えられる村々が点在するエリア。ここは産業革命や周囲の都市からの影響を受けず、かつて羊毛産業で栄えた時代の面影を残している昔ながらのイングランド。モダンデザイン



はちみつ色の家並みと可愛いガーデンニング バイブリーにて

の父と呼ばれるウイリアム・モリスが讃えたバイブリーは、コッツウォルドストーンと呼ばれる「はちみつ色」の石灰石で造られた小さな家並みと緑のコントラストが絵のような美しさで数百年前にタイムスリップしたかのよう。

また、川と橋と街が一体となり「小さなベニス」と呼ばれるボートン・オン・ザ・ウォーターでは、街並みを1/9の縮尺で本物そっくりに再現した『モデル・ヴィレッジ』でガリバーの気分。老舗のスコーン店で焼き立てにたつぷりのクロテッドクリームとジャムをのせてイギリスの味を満喫した時はもう最高の幸せ！

湖水地方

今回、最大の楽しみだった『ピーターラビット』の里へはウインダミア湖をクルーズでボウネスへ。雨模様のため原作者ビアトリクス・ポターが暮らした農場は諦め『ピーター絵本の世界館』でピーターやこねこのトムを探す。娘達が幼い頃、夢中になつて読んで絵本は、



本場のアフタヌーンティーはボリュームいっぱい！湖水地方のホテル

イギリス独特の展開と何よりの挿し絵の美しい色使いに私自身が魅せられ、一度訪れてみたかった場所でした。湖水地方の16もの大きな湖と無数の小さな湖は、水河の浸食で生まれたそうで、ゆったりと流れる時間の中、水と緑が織りなす景観に詩人ワーズワースやポターが魅了されたのもうなずける。



ピーターラビットの絵本から「あひるのジマイマのおはなし」

夏のバッキンガム宮殿内部見学

運の良いことにロンドン滞在中、宮殿内部の見学ができることを知り、最終日の朝一番、列に並び誘導された所は何と正面玄関！ここはエリザベス女王が国王・元首を出迎え、ウイリアム王子ハリー王子夫妻が結婚パレードを終えて記念写真を撮った場所！そこを私達も招待者のごとく緊張しながら入場した時、宮殿の奥から威風堂々とした風が迎えてくれた。また最新のオーディオガイドから聞こえる日本語はエリザベス女王



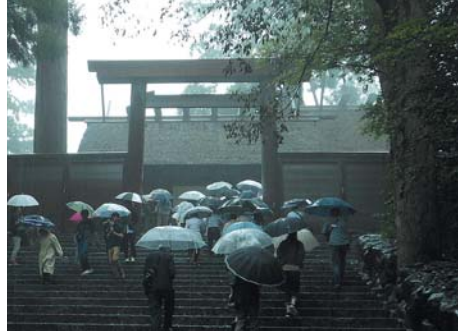
ファッションショーも開催されるバッキンガム宮殿の芝庭

そっくりの声質と抑揚で、女王じきじき説明を受けているような心地よさで、そのイギリスの威厳とおおらかさに感服しました。内部は豪華絢爛ビクトリア様式の調度品が並び、広間・音楽室など650の部屋があるとか。どの鏡もシャンデリアも磨き込まれ掃除は行き届き、ベルサイユ宮殿などと違って暖かい息づかいを感じたのは、住まわれる方が居らっしゃるからでしょうか。宮殿裏の広い芝庭を見渡すロイヤルテラスでの優雅なティータイムは、心が満たされ新たなエネルギーで体はいっぱいになりました。帰国したら、また芦屋シルバーでお仕事頑張ろう！と。

灰田リリ (会員番号1463)

前期会員研修バスツアー

新元号「令和」にちなみ、皇室ゆかりの伊勢神宮を参拝



皇大神宮(内宮)参拝



6月7日(金)、山中市長のお見送りを受けて雨の中バス2台で出発。道中、特殊詐欺被害を予防啓発するため研修DVD「防犯落語」を鑑賞。雨量を気にしながら内宮に到着。お伊勢さんと親しまれ、天照大御神をお祭り。正式名称は「神宮」。あいにくの雨

だが、神宮杉の緑がより濃く、幻想的な雰囲気になり心あられる時を過ごす。その後はおほらい町やおかげ横丁を散策。そして鳥羽へ移動し戸田家で昼食と入浴。海産物店に立寄り、帰路に着く。

取材 加古良子

バスツアーは初めてですが伊勢神宮だったので参加しました。一人だったら二の足を踏んでいましたが、一緒に仕事をしている青山さんに声をかけました。

理事長の挨拶の中で、仕事に携わるのが無理になって

も会員はやめない様に、この様な機会もありますからと言葉に感銘をうけました。青山さんと「大雨だったけどこれも記念になり、思い出になったね。お料理も美味しかったし、楽しく過ご

さしてもらった」と話していました。雨の大きな変化もそう感じないようでした。



令和元年に伊勢神宮の参詣をした

いた時に、ツアーの案内があり参加してもらいました。偶然娘の学校でPTAをしていた西岡さんと「みんなで歌おう」という講座で会って、ご一緒しました。

「雨の日に伊勢神宮にお参りができたのは一生忘れな

いね」お食事もよかったですと話しています。厳かな雰囲気の中参拝できました。

シルバーのツアーは行き届いており嬉しいです。次回も参加しようという気持ちになりました。



右 池田睦美(会員番号28553)
左 青山廣美(会員番号2796)

井上正子(会員番号2772)

谷口祐二(会員番号1276)

「お伊勢さん」は何度お参りし手を合わせてもその都度気持ち清々しくなり、あらためてここは特別な場所だと思いました。

編集後記

平成30年の幕は閉じられました。この間、大小の災害に見舞われた時代でもありました。未だに普通の生活に戻れず、仮設住宅や、故郷から遠く離れた地域に住まねばならぬ人々が多い事に心が痛みます。

全国組織のシルバー人材センターがお互いに連携して助け合える力を発揮できればと思います。話は変わりますが、最近、人生百年時代と、話題をさらっています。百才は80才を、80才は90才を思い描く事は困難です。最近の週刊誌には、やたらと終活やら死後の事まで取り上げていて眼につき困惑しています。さて、皆様は如何ですか？

ちなみに樹木希林の著作集がベストセラーになっているようです。

北川 知可子



新広報委員 尾地 照男 (会員番号2732)

はつらつギャラリー



Blue Mind



LOVE PEACE AND PHOTOGRAPHY



Seashore Cat



LOVE PEACE AND PHOTOGRAPHY



Cat Logital



Cat Logital



げかよしき
外賀 嘉起 (会員番号 2393)

シルバーでは剪定班に所属しお庭の木々の剪定をしております
意外にも写真と剪定には共通点がありどちらも感性がとても大切です
もちろん技術と体力は基礎の基礎ですが常にプロ意識を持ち
体力が続く限り楽しく生きてまいります